<堺市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・学校図書館サポーターの全校配置(年間 80 回)
- ・全児童・生徒への「読書ノート」の配布
- ・研究校の学校図書館職員の巡回訪問
- ・市立図書館による団体貸し出しの実施(運搬も行う)、子ども読書の日の読み聞かせ、図書館見学の実施
- ・選書支援 ・子ども司書体験の実施

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・**堺市学校図書館協議会** (会長、副会長、監事、顧問、代表幹事、会計幹事、幹事、委員)
読書感想文コンクール、読書感想画コンクール委員については、
小学校・各校より司書教諭など
学校図書館関係職員
中・高校・学校図書館部会運営委員
- ・**初等教育研究部会、中学校教育研究部会**
に図書館部会を設置

3. 学校図書館の具体的な活動例

- ・堺市立月州中学校区(小学校3校・中学校1校)・小学校5校・中学校2校の合計11校を**学校図書館教育研究校**に指定している。
その成果を、初研や中教研部会で発表
- ・7月に中学校図書館部会主催の「**堺市連合読書会**」を設け、各中学校より生徒4名が参加、1冊の図書についての話し合いやディベートを行っている。
- ・夏休みの課題に全校、読書感想文を出し、9月の初めより、各学校内での1次審査、学校図書館担当教員による2次審査、図書館部会役員や国語部会校長先生による3次審査の上、大阪府読書感想文コンクールへの応募作品を決定、出品している。
- ・11月堺市の読書感想文コンクールの表彰式を行っている。
- ・1月に堺市での読書感想画コンクールの審査を行い、大阪府読書感想画コンクールへの応募作品を決定、出品している。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・コンピュータ化している学校が増えつつある。
- ・ソフト購入時は市教委に報告し、各校の状況に合わせて実施している。市教委による予算化はしていない。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・**堺市学校図書館協議会**主催の「読書感想文コンクール」表彰式を開催。
入選、特選の作品集を作り全校配布。
- ・堺市中学校図書館部会主催の「**連合読書会**」の議事録・感想文集を作り全校及び参加者に配布。
- ・年に1回、「学校図書情報」(リーフレット)を全校配布し、読書感想文コンクール、感想画コンクールの入賞者一覧や、協議会会長、市教委、初研・中教研部会代表による寄稿文を掲載

<泉大津市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・小中学校に図書館司書を各1名配置。
(雇用形態は有償ボランティア。週4日午前中勤務)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・管理職の顧問を中心に、各校の読書感想文担当者が年3～4回集まり、読書感想文コンクールの業務、情報交換等を行っている。市内の審査はこのメンバーで行っている。また、読書感想文コンクールについては、教育研究会図工部会において、とりまとめおとび審査をおこなっている。本年は別途、市教委主催で**図書館担当者連絡会**を開催

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・教育支援センター内に専用サーバーを設置し、学校間LANを活用して小中学校図書室をコンピュータで結んでいる。蔵書はコンピュータで管理し、貸し出し業務を行っている。他校の蔵

書も検索でき、学校間の貸し借りも可能。市立図書館とは接続されていないが、公開サイトで検索はでき、学校を通して借りることは可能。

4. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・図書館司書は、コンピュータによる蔵書管理の他、図書室だよりの発行、児童への読書指導や読み聞かせを行っている

<和泉市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・学校図書館支援司書が各校に1名配置されている。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

小学校

- ・和泉市小学校教育研究会図書館教育部会では年6回の研究会を開き、本の紹介、講師を招いての研修、図書館等の見学、各小学校の委員会活動の報告を行う。

中学校

- ・年4回の研究会を通じて、研究課題につて協議・検討し、学校図書館のあり方について考える。また今年度は、講師を招いての講演会を行った。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

電子化については、小学校21校中6校
中学校10校中2校行っている。

<高石市・忠岡町>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・学校司書が各校1名配置された。その他、学校図書館サポーターがボランティア(有償・市費)で配置されている学校もある。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・高石市忠岡町小学校教育研究会図書館部会では年7回の研究会を開き、各校の図書館教育の交流や、読書感想文、読書感想画の地区審査を行っている。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・一部の学校でコンピュータ化、蔵書データのMARCを使用しているが、台帳(紙媒体)での管理の学校もあり、市や町で一元管理はされていない。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・読書ノート(1~4年100冊分、5~6年20冊分)書名と感想を書き、ノート1冊分記入すると表彰している。